



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社BlueMeme 上場取引所 東
 コード番号 4069 URL <https://www.bluememe.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 真功
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 市川 玲 (TEL) 03-6712-8196
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,638	16.3	207	△27.6	208	△23.4	138	△25.6
2022年3月期第3四半期	1,408	—	286	—	271	—	185	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第3四半期	39.53		37.83					
2022年3月期第3四半期	58.73		54.36					

- (注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、売上高及び利益に大きな影響が生じるため2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。
2. 当社は、2021年6月29日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2022年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2022年3月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、2021年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,868	2,506	87.4
2022年3月期	2,956	2,354	79.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,506百万円 2022年3月期 2,354百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,317	20.1	255	△29.9	254	△26.9	169	△33.0	48.43

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1 社 (社名) 株式会社 BlueMeme Partners、除外 1 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,524,546株	2022年3月期	3,418,946株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	34株	2022年3月期	34株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	3,498,288株	2022年3月期3Q	3,164,365株

(注) 当社は 2021年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には業績予想や将来の見通しに関する記載が含まれております。これらの記載は本資料の日付時点の情報に基づき作成しており、将来の結果や業績を保証するものではありません。これら将来の見通しに関する記載には様々なリスクや不確定要素が含まれております。このため、実際の業績等は、将来の見通しに関する記載によって明示的あるいは暗黙的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～12月31日）における我が国経済は、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢の緊迫化や急激な円安、資源価格の高騰等により、景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する情報サービス産業においては、そのような状況においても、労働力の減少に対応する経営効率化や生産性向上はもとより、テクノロジーの活用により新たな価値や収益を生み出すデジタルビジネスの推進を狙いとするデジタル・トランスフォーメーション（以下「DX」という。）への需要は依然として強く、中でも将来の技術者減少や技術革新に対応するための情報システムの近代化、モダナイゼーションへの取組が活発であることから、IT投資の需要が引き続き堅調に推移するものと予想される一方で、世界情勢の変化や金融政策の引き締め等を背景に、投資判断の先送りをする傾向が強まる可能性も懸念されております。

このような状況の中、当社グループは「新たな価値を創造し、常識を変え、文化を進化させる」という企業理念のもと、ローコードによる自動化技術と当社独自の開発方法論を活用して、情報システム開発の内製化を推進するサービスを提供することにより、日本企業の国際的競争力を向上させることをミッションとするDX事業を展開しております。

当社グループの事業は、ローコード技術とアジャイル手法を最大限に活かせる当社グループ独自の開発方法論である「AGILE-DX」を活用したコンサルティング・受託開発及びトレーニングの各サービスを提供する「プロフェッショナルサービス」と、ローコード開発ツール等のソフトウェアを販売する「ソフトウェアライセンス販売」から構成されております。「プロフェッショナルサービス」においては、「OutSystems®」を中心としたローコード開発ツールを活用するコンサルティング及び受託開発が順調に拡大するなか、サービスの将来的な需要拡大に対応する当社グループ従業員技術者の採用・育成及びサービスパートナー確保を積極的に推進いたしました。「ソフトウェアライセンス販売」においては、「プロフェッショナルサービス」の提供に伴う「OutSystems®」を中心とする当社グループ取扱製品の既存顧客への定着及び新規顧客への拡販に努めました。

さらに、2022年4月8日に発表されました三井情報株式会社との資本業務提携契約締結を機に、今後の成長をより増大させるべく、前倒しで研究開発や人材獲得・育成を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,638,260千円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は207,448千円（前年同四半期比27.6%減）、経常利益は208,003千円（前年同四半期比23.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は138,285千円（前年同四半期比25.6%減）となりました。

また、セグメントの業績につきましては、当社グループはDX事業の単一セグメントのため記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,687,898千円となり、前連結会計年度末に比べ66,968千円減少いたしました。これは主に売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は180,620千円となり、前連結会計年度末に比べ21,147千円減少いたしました。これは主に減価償却による減少であります。

この結果、総資産は2,868,519千円となり、前連結会計年度末に比べ88,116千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は325,317千円となり、前連結会計年度末に比べ239,001千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は36,896千円となり、前連結会計年度末に比べ596千円減少いたしました。これは主にその他（長期リース債務）が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は362,214千円となり、前連結会計年度末に比べ239,597千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,506,304千円となり、前連結会計年度末に比べ151,481千円

増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は87.4%（前連結会計年度末は79.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年2月14日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社グループは引き続き、新たな成長事業領域であるビジネスアーキテクチャーの分野や、デジタルレイバーサービスといった付加価値を創出します。これらの施策により、新たな成長フェーズを実現し、2028年3月期には連結売上高100億円規模の達成を目標としてまいります。

この成長の実現に伴う事業規模の拡大に備えて、人的資産の拡充、さらなる研究開発の推進、などを通して、組織力の強化を進めてまいります。必要に応じて外部資産の獲得などにも柔軟に対応してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,210	2,377,367
売掛金及び契約資産	366,106	252,165
仕掛品	162	4,978
前払費用	33,508	52,267
その他	—	1,761
貸倒引当金	△1,120	△641
流動資産合計	2,754,867	2,687,898
固定資産		
有形固定資産	91,525	83,139
無形固定資産	18,269	13,926
投資その他の資産	91,972	83,553
固定資産合計	201,767	180,620
資産合計	2,956,635	2,868,519
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,147	195,857
1年内返済予定の長期借入金	94,453	19,456
未払法人税等	121,366	960
契約負債	57,877	46,596
その他	125,475	62,447
流動負債合計	564,319	325,317
固定負債		
資産除去債務	32,750	32,807
その他	4,742	4,089
固定負債合計	37,493	36,896
負債合計	601,812	362,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,195	968,818
資本剰余金	953,195	959,818
利益剰余金	439,345	577,630
自己株式	△75	△75
株主資本合計	2,354,659	2,506,192
新株予約権	163	112
純資産合計	2,354,823	2,506,304
負債純資産合計	2,956,635	2,868,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,408,687	1,638,260
売上原価	636,112	826,909
売上総利益	772,574	811,350
販売費及び一般管理費	486,235	603,902
営業利益	286,339	207,448
営業外収益		
受取利息	5	11
為替差益	23	504
貸倒引当金戻入額	348	478
その他	51	223
営業外収益合計	429	1,218
営業外費用		
支払利息	888	417
上場関連費用	5,607	—
その他	8,625	245
営業外費用合計	15,122	662
経常利益	271,647	208,003
税金等調整前四半期純利益	271,647	208,003
法人税、住民税及び事業税	117,960	60,634
法人税等調整額	△32,140	9,084
法人税等合計	85,819	69,718
四半期純利益	185,827	138,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,827	138,285

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	185,827	138,285
四半期包括利益	185,827	138,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,827	138,285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。